

# アンテナの取り付けかた

## お客様へのお願い

- このアンテナは、パナソニック車載用デジタルチューナー専用です。
- このアンテナはフロントウィンドウはり付け専用です。フロントウィンドウ以外の場所には、はり付けしないでください。
- はり付け・配線をするために、フロントウィンドウ周りの内張り(ピラーカバー・ルーフィングなど)を一時的に取りはずす必要がありますので、ご了承ください。
- フィルムアンテナ、アンプ、コードをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等揮発性のものでふかないでください。
- フィルムアンテナを折り曲げたり、キズを付けたりしないでください。断線等により電波の受信が悪くなる場合があります。
- ガラスをふくなどするときは、強くこすらないでください。また、シールやステッカーはがし剤を使わないでください。破損の原因となります。
- 車種によって、取り付けられない場合や性能が発揮できない場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
  - ・熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合には、受信感度が極端に低下します。お車をお買い上げの販売店に確認してください。
  - ・ミラーフィルム、蒸着フィルムなどの電波不透過フィルムを施工したガラスの場合には、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に確認してください。
  - ・エアバッグをピラーに搭載している車両には、取り付けることができません。

## はり付ける際の留意点

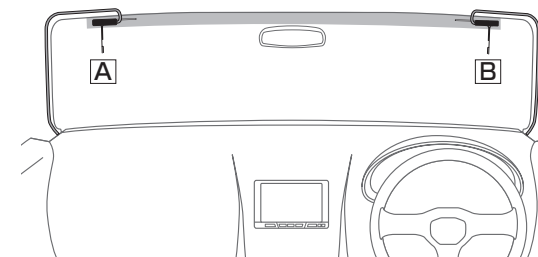
- 一度はり付けると、エレメントの素子破損や粘着力が弱くなるため、はり直しできません。アンテナをはる前に必ずコードおよびアンテナを仮止めし、コードの引き回しなどを十分に検討してからはり付けてください。
- 必ずフロントウィンドウの指定の位置・寸法内に正しくはり付けてください。
  - サイドガラスやリヤガラスには、はらないでください。十分な受信状態が得られません。
  - フロントウィンドウ(内側)の汚れ(ごみ、ほこり、油など)や、くもり止めや水分などをクリーナー(付属)できれいにふき取ってください。ガラス面が乾かないうちは、はり付けしないでください。エレメントがはり付かなくなります。また、市販の界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
  - エレメントやアンプおよびコードクランプなど、フィルムやはくり紙などをはがした面には手でふれないでください。また、長時間の放置はしないでください。汗や汚れまた静電気による故障や接触不良の原因になります。
  - ガラス面が結露したり気温が低いとき(20℃以下)は、はり付かなくなります。湿度が高いときは、エアコンをオンにして十分に乾かすか、気温が低いときは車内ヒーターやデフロスター、またはドライヤーなどではり付け部分を暖めて、結露しないことを確認してからはり付けてください。

●**取扱注意** について  
 本機は、可能な限り破損しにくい設計になっていますが、フィルムアンテナという製品の性質上、やむを得ず十分な強度が得られない個所があります。本書では、そういった個所を**取扱注意**で示しています。  
 このマークの個所は、絶対に、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじるなどしないでください。破損の原因になります。

## はり付け位置の確認

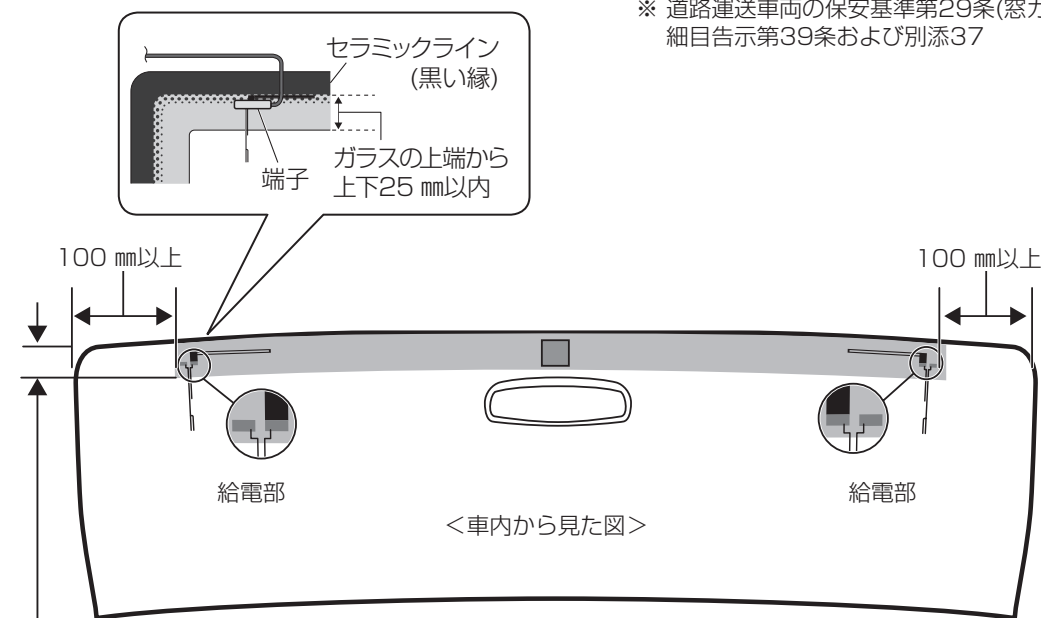
### はり付ける位置について

- 必ず車室内(フロントガラスの上側)にはり付けてください。サイドガラスやリヤガラスには、はり付けないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きではり付けてください。
- セラミックラインの上には、できるだけはり付けしないでください。車種によって、性能が発揮できない場合があります。



- 国土交通省の定める保安基準\*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)にはり付けてください。

\* 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37



給電部をフロントガラス上端から25 mm以内にはり付けてください。

### 各アンテナ間の距離

- 妨害感度低下を防ぐため、エレメントと他機種のアンテナ間は、最低でも10 cm以上離してはり付けてください。

✕ 下記のようなはり付けは、絶対にしないでください。

- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。

